

平成 21 年 度

事 業 報 告 書

財団法人山口市文化振興財団

1 事業報告

(1) 事業概要

「山口市における文化の振興を図るため、企画事業を実施するとともに、市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援促進し、もって個性豊かな地域社会の形成と市民生活の向上に寄与する」という財団設立時の趣意書に掲げる目的を達成するため、事業開始14年目を迎えた平成21年度において、以下の事業を実施した。

事業のうち、寄附行為第4条第1号に掲げる“市民の文化振興に関する事業の企画実施（以下「企画事業」という。）”においては、山口市から管理運営を受託している山口市民会館及び中原中也記念館をはじめ、市内にある他の公共文化施設等を活用し、音楽演奏会、市民参加型コンサート、演劇公演、講座事業等年間をとおして企画実施した。

また、やまぐち情報文化都市づくりにおける交流拠点として平成15年11月に開館した山口情報芸術センターは開館6年目を迎え、中央公園にまで展示範囲を広げた Semitra Exhibition「tFont/fTime」セミトラインスタレーション展や三上晴子新作インスタレーション展「Desire of Codes|欲望のコード」等の大規模な展覧会を企画実施するとともに、初の演劇滞在制作、マレピトの会「PARK CITY」公演を実施するなど「新しい価値の創造」を目指した。その他にも、幅広いジャンルの公演事業や作品展示を行うとともに、体験型ワークショップ等の市民参加型のプログラムを多数開催した。

同条第2号に掲げる“市民の文化活動の育成及び支援(以下「育成・支援事業」という。)”においては、山口市民会館の開館当初からの協力団体である、「やまぐち市民文化の会」(会長：田村幸志郎氏)との事業の企画実施の連携により、育成・支援を行うとともに、当財団の目的及び事業に賛助する市民との機能的な連携を図るため、平成9年度に発足した「財団法人山口市文化振興財団友の会“Ars Nova Yamaguchi”」の会員加入促進に努めた。また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を助成する「市民文化活動支援事業」を継続実施し、市民と一体となった文化振興を図った。

同条第3号の“文化振興に関する調査研究(以下「調査研究事業」という。)”においては、山口市所管課と連携した関係資料の調査、収集、複製の製作等により中原中也研究を推進するとともに、自主企画展事業に関する調査及び研究を行った。

同条第4号の“文化に関する情報の収集及び提供(以下「情報収集・提供事業」という。)”においては、市民文化に関する活動状況、市内文化施設におけるイベント情報等を収集し、自主企画事業の広報並びに広く市民に情報提供する文化情報誌として、山口文化情報「a n y」を年間4号発行した。また、山口市民会館においては施設における催物案内を、中原中也記念館においては中原中也研究に関わる情報提供のための館報第15号を発行した。

このほか、同条第5号の“文化施設の管理運営の委託(以下「施設管理受託事業」という。)”においては、受託施設の維持管理業務による施設の安全及び保守を図るとともに、施設の利用促進等を図るための利用許可業務、利用料及び観覧料徴収等の受付業務を行った。

(2) 企画事業

山口市からの管理運営受託施設である山口市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の機能を生かしつつ、文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会の拡充を図った。

また、事務局及び協力団体との共催においては、これらの施設を中心に広く市内文化施設等を活用した各種企画事業を行った。

山口市民会館

「やまぐち市民文化の会」の主催として『松竹新派名作劇場「女の一生」』公演等を行った。

また、自主公演として地元で音楽活動を行っている音楽愛好者の方々による「第37回市民コンサート」や「第22回お母さんコーラス」等、一般市民と一体となった演奏会を実施した。

中原中也記念館

中也が身近な人々の死をどのように捉え、そこからどのような詩が生まれたのかをテーマにした常設展「哀悼の詩 - 愛するものが死んだ時には」など年2回の常設テーマ展や「第14回中原中也賞」をテーマにした企画など年3回の企画展、「月光」「メルヘン」という切り口から中也をとらえた特別企画展「月光とメルヘン」など様々な角度から中也の詩を紹介した。また、中也の人と作品をわかりやすく解説し、理解を深める一助として公開講座を開催するとともに、中也が好んだ「朗読」を通じて市民参加型イベント「中原中也生誕祭」を実施し、詩の朗読に親しむ場を提供した。

毎月1回、中也やその他の詩人の詩を読む読書会を開催し、詩について理解を深める場も提供した。

山口情報芸術センター

山口情報芸術センターは開館6年目を迎え、平成16年の企画実施後、8カ国12カ所で巡回展示を行うなど国内外で好評を博した三上晴子+市川創太「gravicells - 重力と抵抗」の改訂新バージョンの展示や三上晴子新作インスタレーション展「Desire of Codes|欲望のコード」を実施するとともに、初の演劇滞在制作、マレピトの会「PARK CITY」公演を実施するなど、YCAMオリジナル作品の制作・発信に力を注ぐとともに、参加型作品の展示や各種公演、講座等を開催、市民が様々な文化芸術に触れる機会の提供に努めた。教育普及では、企画展関連のワークショップやオリジナルワークショップを開催、地域の人材育成や文化芸術活動の活性化を図った。また、コミュニティシネマの定期上映等、関係機関と連携し、多様な映像作品を市民に提供した。

また、YCAM開館記念作品として発表した「アモーダル・サスペンション - 飛びかう光のメッセージ」の同シリーズとなる作品が、バンクーバー冬季オリンピック関連イベントとして実施されるなど世界の舞台でのYCAMとして着実に歩みを進めた。

事務局

市民に広く文化に親しんでもらうということをふまえ、エンターテインメント性の高いものを中心に、山口市民会館、山口情報芸術センターを活用した演劇公演や音楽公演等4公演を実施。多くの市民に様々な鑑賞機会を提供した。

(3) 育成・支援事業

財団の目的達成のために、事業の企画実施に積極的に協力する組織を育成・活用するとともに、連携による事業を行った。

また、財団の目的及び事業を賛助する市民等を組織化するため、平成9年度に発足した財団友の会の継続とともに、市民の文化活動に助成金を交付して支援する「市民文化活動支援事業」を行った。

協力団体育成

財団の企画事業の実施を積極的に協力する組織を育成し、一部の事業において企画実施を委託した。

- ・ やまぐち市民文化の会（会長：田村幸志郎氏）
～山口市民会館における事業の企画実施を委託した。

友の会の組織化と運営

財団の目的及び事業に賛助する市民と機能的な連携を図るために発足した「財団法人山口市文化振興財団友の会 Ars Nova Yamaguchi」(呼称：エニー)の会員加入促進に努めるとともに、積極的な情報提供を行った。

- ・ 発足時期 平成9年4月1日

・ 会員種別

種別	対象者	年会費
個人会員	個人	入会時 2,000円
		更新時 1,500円

- ・ 会員特典 チケットの優先予約、割引購入
チケット、情報資料の無料郵送
YCAMシネマ及び中原中也記念館の招待券贈呈
ACEカード契約者へのチケットのクレジット販売等
- ・ 会員数（平成22年3月31日現在）
個人会員 790名

市民文化活動支援事業

営利を目的としない個人、団体等が行う文化事業に助成する事業として、審査を経た22件に助成した。

- ・応募期間 平成21年3月1日～3月31日
- ・応募件数 24件
- ・助成団体 22件

団体・個人名	事業名	分野
NPO法人 こどもステーション山口	江戸糸あやつり人形劇「ショ・ジョ・ジ」	演劇
山口マンドリンアンサンブル	山口マンドリンアンサンブル第22回定期演奏会	音楽
劇団 演劇街	「パパは、ロボット」劇場公演	演劇
モイズプロジェクト	モイズプロジェクト2.0展覧会	美術
中野 寿子	五重塔・雪舟庭・山口十境などの絵葉書セットの作成	美術
NPO法人山口現代藝術研究所(YICA)	アートイン木町プロジェクト「つなぐ」09	美術
コーラス隊"h.u.g!"	コーラス隊"h.u.g!"10周年記念コンサート	音楽
山口市日韓親善協会	百済文化祭参加事業	舞踊
MaemachiArtCenter(MAC)	Re-Fort PROJECT in Yamaguchi	美術
混声合唱団「すばる」	混声合唱団「すばる」第8回定期演奏会	音楽
山口音楽振興会 まんてん	交通安全及び青少年薬物乱用防止啓蒙コンサート	音楽
ちくは	第2回山口/博多/別府コンテンポラリーダンス作品交換プロジェクト	舞踊
シュルンマリート	みんな集まれ"音楽は世界共通のことば"コンサート	音楽
山口国際交流芸術祭実行委員会	第7回山口国際交流芸術祭	音楽
UB EccentrixParty	EthnicParty&Workshop 世界の音楽で遊ぼう	音楽
山口アコースティック連盟	アコースティック・ミーティング	音楽
米本 太郎	狂言とお琴に触れてみよう in 氷上山	伝統芸能
Touch the bonnet	touch the bonnet third 演劇・音楽LIVE	演劇/音楽
Yan 山口アートネットワーク	「古い着物・帯を甦らせる～表装と紬織展」	美術/伝統工芸
小郡俳句同好会	山頭火/其中庵かるたの創作	文学
突撃!?喜劇病棟	contest 09×10(仮)	演劇
秋本 野歩	「PARA」ミュージック・ライブ・パフォーマンス	音楽

(4) 調査研究事業

中原中也研究

関係資料の調査、収集、複製の製作等により中原中也研究を推進した。

自主企画事業に関する調査及び研究

事業企画の研究のため、公演ごとのアンケート調査を随時行った。

(5) 情報収集・提供事業

山口文化情報誌「any」の発行

財団の事業を広報し、収集した市内及び周辺の文化情報を定期的に提供する情報誌として、平成9年1月に創刊した「any」を年間4号、四半期毎に発行した。(第69号～第72号、各A4版、7,000部)

「中原中也記念館報第15号」の発行

中原中也記念館の年間活動記録、新資料の紹介、関係者の寄稿などを掲載した「館報第15号」を発行した。(3月31日発行、A4版、3,500部)

ホームページによる情報提供

財団及び山口市民会館、中原中也記念、山口情報芸術センターのホームページにより、イベント情報等を随時発信した。

また、山口情報芸術センターでは、情報をいち早く届けるため、「ブログ¹⁾」や「ツイッター²⁾」などインターネットを通じた新たな情報発信手段に取り組んだ。

財団友の会協賛店による情報発信

新たな情報発信拠点をつくるべく、財団友の会協賛店の新規開拓を実施した。協賛店には会員募集のチラシ、情報誌「any」、各公演のチラシを置かせていただくとともに、any会員向けの独自サービスも実施してもらった。このことによりany会員の増加も目指した。

- 1 個人や数人のグループで運営され、日々更新される日記的なWebサイトの総称。
- 2 コミュニティに登録された仲間同士で「What are you doing?」(今、何をしているか)に対する回答を伝え合うというのがコンセプトとなっている。一回に登録できる文字数は最大140字以内であり、リアルタイムで配信される。「つぶやき」のようなコメントを気ままに共有することで、ゆるいコミュニケーションが図れる、という点を特徴としている。

(6) 企画事業一覧

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
財 団 事 務 局	ラーメンズ第17回公演 「Tower」	5月16日 (土)・17日 (日) 山口情報芸術 センター ス タジオA	巧みな言葉のかけひきやユニークな体の動きをつかって笑いあふれるコント作品を発表するラーメンズの山口第2回目となる公演を開催。小林賢太郎の笑いを超えたシュールで芸術性を持つ脚本と演出・構成をベースに、個性豊かな片桐仁との舞台上での絶妙な間合いと言葉のかけひきで、観客を引き込ませ、劇場中に大きな笑い感動を呼び起こした。2005年に行われた第一回目のYCAM公演でもチケットが完売御礼だったが、今回も2日公演ともすぐに完売し、多くの観客にYCAMの特徴であるステージを観ていただく機会を提供することができた。	920名	前売 一般 5,500円
	KOKAMI @network vol.10 「僕たちの好きだった 革命」	6月29日 (月) 山口市民会館 大ホール	人気劇作家・脚本家、鴻上尚史と、映画「トリック」「ケイゾク」などを手がける鬼才、堤幸彦がタッグを組んだ共同企画作品を上演。2007年に初演され、演劇界に旋風を巻き起こした作品の再演であり、主演は中村雅俊が務め、また共演に、片瀬那奈や塩谷瞬などいま旬の若手俳優が出演するなど、話題を集めた。この度は地域創造と文化庁の助成金を受けることで、安価なチケット価格を設定でき、またプレイベントとして本作品の脚本家である鴻上尚史を招き、講演会も実施することができた。本作品の魅力はもちろん、ラジオ・テレビ・舞台・映画・小説など多方面で活躍する鴻上氏ならではの視点で、日本の現在を語るユニークな講演会となり、本公演とあわせて贅沢な企画となった。	793名	前売 S席 一般 4,000 円 A席 一般 3,000円
	東京都交響楽団コン サート	9月4日(金) 山口市民会館 大ホール	07年夏に行った東京都交響楽団(都響)によるコンサートを、今回は島根県いわみ芸術劇場との連携事業として行った。連携館と、都響と当財団とで意見を交わしながら、それぞれの土地でしか味わえないような独自性のある内容を企画し実施した。プレイベントとして本番の前に、商店街やYCAMホワイエ等多くの市民が集まる場所でフリーコンサートを2回開催。第1弾に都響メンバーによる金管5重奏のミニコンサートを7月に、第2弾に本公演のソリストである佐藤俊介氏によるヴァイオリンのトーク+ミニコンサートを8月に行い、どちらも300人近くの来場者が集まった。気軽にクラシックを楽しむことができたという評判のイベントとなり、本番へのチケットの販促にもつながった。9月の公演でも、来場者から「迫力ある演奏を聴くことができた」「オーケストラ・ソリストともに再び呼んでほしい」など、終演後に多くの感想を寄せていただき、大変評価の高い事業となった。	801名	前売 S席 一般 5,000 円 A席 一般 3,000円 大学生以下 各半 額
	mariko live 2009 in yamaguchi「浜田音泉」	12/4(金) 山口情報芸術 センター ス タジオA	ノスタルジックな声の質感で紡がれる「うた」と、圧倒的な存在感の「ピアノ」で、多くの人の心を魅了するシンガーソングライター、浜田真理子を招へいし、ソロライブを開催。2008年にYCAMで行った「大友良英/ENSEMBLES」展 オープニングライブ「songs」に出演した際に、その息をのむような素晴らしい歌を、山口で初めて披露したのをきっかけに、今回のライブが実現。Jazz、Blues、POPS、歌謡曲など様々なエッセンスが詰まった聴きごたえのあるサウンドと、感性豊かな言葉で紡がれた歌詞で胸に響く音楽を、たっぷり味わうことができたライブとなった。また、本公演の関連企画として、湯田温泉のホテルに協力していただき、チケット購入者にワンコインで温泉に入浴できる特典をつけ、好評を博した。	279名	前売 一般 3,000円

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料	
山 口 市 民 会 館	平成21年度 松竹新派名作劇場 「女の一生」	平成21年7月 15日(水) 18:30開演 於: 山口市民 会館大ホール	波乃久里子、風間杜夫、中山仁、安井昌二、司葉子 など第一線で活躍する俳優陣の迫真の演技に観客から 惜しめない拍手が送られた。「女の一生」は長年 続けられてきた不朽の名作でもあり、多くの人の心 を引き付ける舞台であった。	750名	全席指定 S席 6,000円 A席 5,000円 B席 4,000円	
	森麻季&横山幸雄 デュオリサイタル	平成21年10月 22日(木) 18:30開演 於: 山口市民 会館大ホール	音楽会では有名なピアニスト横山幸雄と、オペラ歌 手森麻季によるデュオリサイタル。ソロではなく互 いの技術を持ち合わせて同時に聴かせるという豪華 なステージであった。オペラ曲として有名な曲か ら、庶民的に知られる曲まで沢山のジャンルの曲が 披露された。	715名	全席指定 S席 3,500円 A席 3,000円	
	第22回 おかあさんコーラス演 奏会	平成21年12月 12日(日) 13:00開演 於: 山口市民 会館大ホール	市内のPTAコーラス等の女声合唱グループが一堂に 集い、コンサートを通じグループ相互の親睦を深め つつ、お互いの向上を図ることを目的とした演奏 会。 今年度はゲスト出演として2団体も加わり、15団 体での演奏会となった。	700名	無料	
	第37回市民コンサート ～あの名演奏をもうい ちど～	平成22年3月 21日(日) 13:00開演 於: 山口市民 会館大ホール	各年度内に開催された各種コンクールにおいて、優 れた成績を収められた方々や、平素から熱心に音楽 活動を続けておられる方々を招いての“アンコール コンサート”。出演依頼を受けた出演者から喜びの 声を頂いたり、リハーサルに熱心に取り組むなど意 気込みが感じられ主催者側としてもやりがいのある コンサートであった。	1,200名	無料	
中 原 中 也 記 念 館	中原中也生誕祭 「空の下の朗読会」	4/29(水・祝) 中也記念館前 庭	第1部:自由参加の朗読(参加者21名) 第2部:まるで六文銭のように コンサート(小室等・及川 恒平・四角佳子・こむろゆい)	250名	無料	
	展示関連					
	企画展 (平成20年度) 「中也の兄弟たち」	H20/12/17(水) ～ H21/4/19(日) 中也記念館2 階企画展示室	個性的な名の示す通り、それぞれの道を歩んだ中原家 の6人兄弟たちを紹介。	1,081名	平成21年度事業 入場者数は4/1～ 4/19	
	第6回常設テーマ展 「哀悼の詩－愛するもの が死んだ時には」	H21/2/18(水) ～ H22/2/7(日) 中也記念館1 階常設展示室	中也が身近な人々の死をどのように受け止め、そこから どのような詩が生み出されたのかを紹介。	13,731名	平成21年度事業 入場者数は4/1～ H22/2/7	
	企画展 「第14回中原中也賞」	4/22(水)～ 7/20(月・祝) 中也記念館2 階企画展示室	第14回中原中也賞受賞者・川上未映子氏と詩の世界を 紹介。 併せて歴代受賞者のその後の活動を展示。	5,916名		
特別企画展 「月光とメルヘン」	7/24(金)～ 9/27(日) 中也記念館1 階、2階展示 室	中也の詩の中にはいくつもメルヘン的な詩を見ることが できる。それらには月光をモチーフとしているものが多 い。月光とメルヘンとの関連、中也にとってのメルヘンと は何かを様々な角度から紹介。 関連イベントとして、ワークショップ「中也の詩の絵本を作 ろう」・プロムナード・トーク&上映会を各2回開催。(参加 者:43名)	5,188名			

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料	
中原中也記念館	企画展 「湯田温泉物語」	9/30(水)～ 12/13(日) 中也記念館2 階企画展示室	中原中也、種田山頭火などを紹介しながら、湯田温泉の歴史と文学との関わりを探る。	4,583名		
	企画展 「収蔵資料展」	H21/12/16 (水)～ H22/4/18(日) 中也記念館2 階企画展示室	普段はあまり展示することの出来ない貴重な資料や、近年収集した、最新収蔵資料の紹介。	4,716名	平成21年度事業 12/16～ H22/3/28	
	第7回常設テーマ展 「『山羊の歌』まで」	H22/2/10(水) ～H23年2月 13日(日) 中也記念館1 階展示室	中也が自らの手で出版し、生前唯一の詩集となった『山羊の歌』の、刊行にいたるまでの道のりを紹介。	2,500名	平成21年度事業 入場者数は2/10 ～3/28	
	公開講演					
	公開講演 「西條八十の世界」	9/5(土) ホテルニュー タナカ 平安の間	中原中也の会大会テーマ「西條八十とモダン日本」にあわせた講演 講師：筒井清忠(帝京大学教授)	77名	500円 中原中也の会と共催	
	公開講演 「死と哀悼」	H22/1/30(土) ホテルニュー タナカ 孔雀の間	常設テーマ展「哀悼の詩」にあわせた講演 講師：栗原敦(実践女子大学教授)	40名	無料	
	読書会					
	第59回～第70回 中原中也を読む会	H21/4/24(金) ～ H22/3/26(金) 中原中也記念 館及び山口情 報芸術セン ター多目的室	中也などの詩の読書。その他、企画展などの展示の見学。	100名	無料	
	機関誌					
	「中原中也研究」第14号 発行	8/31(月)	特集1:中原中也 日仏近代詩の交感 特集2:中原中也と草野心平 編集:中原中也の会・「中原中也研究」編集委員会	発行部 数:1,000 部	2,000円	
館報						
館報第15号発行	H22/3/31(水)	インタビュー:松本隆 特別寄稿:浅田弘幸 寄稿:栗原敦 他	発行部 数:3,500 部	無料		

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (アート事業)	sound techtonics#7 「ATAK NIGHT4」	4月29日(水祝) スタジオA	YCAMの機能を最大限に生かし、メディアテクノロジーを駆使したサウンドアートを紹介するシリーズ「sound techtonics」。7回目となる今回は、2006年にYCAMで作品を発表した渋谷慶一郎が主宰する「ATAK NIGHT4」が登場。ニューヨークを拠点に活動する伝説的サウンドアーティスト、刀根康尚や、池田亮二、evalaなどが競演した。	183名	入場料2,000円他
	スティーブ・パクストン「Phantom Exhibition ~ 背骨のためのマテリアル」	5月24日(日) ~ 8月31日(月) スタジオB、ホワイエ、2Fギャラリー	50~60年代のNYでのオルタナティブダンスムーブメントを代表する、世界的ダンサー、スティーブ・パクストン。青森・東京・京都・山口の公共文化施設が連動して企画。YCAMではインスタレーション&パクストン本人のデモンストレーション、レクチャーを実施した。 【関連】ダンスデモンストレーション 開催日時:5月24日(日) 13:00 ~ 会場:スタジオB 入場者数:100名 【関連】レクチャー + ポストトーク 開催日時:5月24日(日) 15:00 ~ 会場:ホワイエ 入場者数:110名		入場無料
	Semitra Exhibition「tFont/fTime」セミトライン スタレーション展	開催日時:9月19日(土)~平成22年1月10日(日) 会場:スタジオB、ホワイエ、2Fギャラリー、中央公園ほか	フォント(文字書体)デザインに着目し、時間によってフォントが変容していく作品。 スタジオB、ホワイエ、中央公園など館内外を利用した大規模作品となった。 【関連】オープニングトーク 開催日時:9月19日(土) 15:00 ~ 会場:ホワイエ 入場者数:115名	5,051名	入場無料
	渋谷慶一郎 + evala 新作サウンドインスタレーション「for maria installation version」	10月1日(木)~平成22年6月6日(日) 中庭	中庭に敷設された5.1チャンネルのサウンドシステムを使い、「渋谷慶一郎 + evala」の新作を左記期間常設した。		入場無料
	三上晴子 + 市川創太「gravicells - 重力と抵抗」改訂新バージョン	平成22年1月24日(日)~6月6日(日) 5月10日~21日は閉鎖 スタジオB	平成16年5月の滞在制作・初公開以来、世界8カ国12カ所を巡回し、メディアアートの代表的作品の一つとして高い評価を得てきた本作品。 今回床面に加え、四方を連結した4面スクリーンに拡張。より立体的な3次元空間としてバージョンアップし再展示した。	4,393名 (3月末時点)	入場無料

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (アート事業)	三上晴子新作インスタレーション展「Desire of Codes 欲望のコード」	3月20日(土)～6月6日(日) スタジオA	普段は劇場スペースとして使用しているスタジオAを全面フラットな状態で使用、大規模なインタラクティブインスタレーション作品となった。 巨大な壁面に広がる昆虫の触毛を思わせる大量のストラクチャー、天井から吊るされたカメラとプロジェクターが搭載された6基のロボットアーム、会場奥の昆虫の複眼を思わせる円形スクリーン。それぞれのカメラの映像データは、世界各地の公共空間にある監視カメラの映像などとともに独自のデータベースを構築し、過去と現在、会場と世界各地の映像を複雑に交錯させながら、スクリーンへと投影された。 【関連展示】池上高志「MTM[Mind Time Machine]」 会場:ホワイエ 【関連】オープニングトーク 開催日時:3月21日(日)14:00～ 会場:ホワイエ(入場無料) 入場者数:107名	817名(3月末時点)	入場無料
	長期展示作品シリーズ / scopic measure	4月25日(土)～8月31日(月) ホワイエ・2F ギャラリー	5月24日より開催されたスティーブ・パクストン「Phantom Exhibition～背骨のためのマテリアル」とテーマを共有させ、「身体表現+メディア」にフォーカスした2組の新鋭アーティストの作品を紹介した。 scopic measure#09 / newClear「skinslides」 scopic measure#10 / 高嶋晋一「Pascal pass scale」		入場無料
山口情報芸術センター (パフォーマンス事業)	煙巻ヨーコ ダンスセッション「ALL LOVES YOU!」	6月27日(土) スタジオA	東野祥子は、劇場での作品上演以外でも「煙巻ヨーコ」の名前で、クラブなどで、DJ、ミュージシャンとのセッション的なダンスでも評価を受けている振付家、ダンサーである。今回のラウンジ企画では、東野のクラブでの活動にフォーカスしたパフォーマンスを実施。コンテンポラリーダンスの持つ広がり、ダンスが持つコミュニケーションツールの側面を紹介した。	265名	2,300円他
	マレピトの会「PARK CITY」	8月28日(金)・29日(土)・30日(日) スタジオA	劇作家・演出家である松田正隆が主宰する「マレピトの会」とYCAM Interlabが共同作業、制作する滞在制作演劇公演。松田は岸田國土戯曲賞、読売演劇大賞作品賞受賞など、90年代から現在まで日本を代表する劇作家である。今回と滞在制作においても、現代におけるメディアと言葉・身体の関係性をテーマに深く切り込んだ作品制作を行った。また、国内、海外フェスティバル参加についても視野に入れている。 関連)ポストトーク 開催日時:8月29日(土)、30日(日) 14:00～ 会場:スタジオA 入場者数:133名(入場無料) (関連)笹岡啓子写真展 開催日時:8月1日(土)～31日(月) 10:00～ 会場:2階ギャラリー	243名	3,000円他
	演劇公演「旅とあいつとお姫様」 共催:NPO法人こどもステーション山口	9月26日(土) スタジオA	シンプルな舞台装置とカラフルな色づかいで、独創的な作品世界を創り続けている演出家、テレサ・ルドヴィコの脚本・演出による音楽劇を実施した。	321名	2,700円他

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (パフォーミングアーツ事業)	グルーボ・チ・フーア「H3」	11月14日(土) スタジオA	ブラジルの振付家ブルーノ・ベルトラオと様々なストリートダンサーで構成されるカンパニー「グルーボ・チ・フーア」の最新作「H3」を公演。 山口でも、ヒップホップに関心を寄せる観客は多く、親しみのある分野からYCAMを身近に感じてもらい、新たな表現が持つ柔軟性や、可能性、見ることの楽しさを感じてもらうことを目指した。	187名	2,300円他
	演劇公演「Life On The Planet」	12月20日(日) スタジオA	地球温暖化や大気/放射能汚染など、人間をとりまく環境の変化がメディアで取り沙汰される現在、「地球環境と人間、自然と文明」というテーマを背景に、近未来の世界を想定し、仮想の未来からの視点で人間の存在や現代を問う演劇作品の公演を実施した。	133名	2,300円他
山口情報芸術センター (教育普及事業)	企画展示ギャラリーツアー		・「Phantom Exhibition ~ 背骨のためのマテリアル」ギャラリーツアー 開催日時:6月7日(日)ほか12日間開催 会場:スタジオB、ホワイエ、2Fギャラリー ・セミラインスタレーション展ギャラリーツアー 開催日時:10月3日(土)ほか15日間 会場:スタジオB、ホワイエ ・「gravicells - 重力と抵抗」ギャラリーツアー 開催日時:1月24日(日)ほか8日間 会場:スタジオB ・三上晴子「Desire of Codes 欲望のコード」ギャラリーツアー 開催日時:3月22日(月祝)ほか12日間 会場:スタジオA、ホワイエ	121名 121名 90名 29名	参加無料
	「ALL LOVES YOU!」関連ダンスワークショップ『ダンスってこんなに自由だったの?!』	6月20日(土)~ 21日(日) スタジオA	様々な舞台のスタイルを経験する東野祥子の柔軟な思考や、彼女の特意とする即興で踊る身体の扱い方を探求。その経験を基に、通常の舞台にあるダンサーと観客の間にある垣根を取り払った新しいスタイルの舞台が生まれるきっかけ作りを目指した。	18名	3,000円
	「PARK CITY」関連レクチャー『劇作・演出家のはなしを聞こう! - 声はどこからくるの?』	6月6日(日) スタジオA	日本の演劇界をリードする劇作家/演出家の松田正隆を講師に、演劇の発想やその魅力について学ぶレクチャーを開催した。	70名	入場無料
	セミラインスタレーション展関連ワークショップ「typo DJワークショップ」	11月28日(土)、29日(日) スタジオA	生楽器や電子楽器を巧みに操ってリリリな音楽を作り出すHIFANA&IZPONによる子供向けDJワークショップを実施。参加者はグループに分かれ、作品を制作。最後はスタジオAで発表デモライブを行った。	10名 (デモライブ参加者79名)	参加費500円
	「Life On The Planet」関連レクチャー『私たちが生きられる一番小さな生態系』	12月5日(土) ホワイエ	ドラマツルクとして活躍している長島確と若手批評家であり、サクソ/エレクトロニクス奏者でもある大谷能生。新作公演「Life On The Planet」にて初のコラボレーションを果たす二人が本作のテーマである人口閉鎖空間というテーマに引きつけ、[共に存在するコラボレーション]について広く議論した。	50名	参加無料

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (教育普及事業)	検索ワークショップ「Search n Search」	2月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日) 創作学習室	普段はコンピュータ内部の演算として実行されている「検索」の仕組みを、コンピュータ内ではない形(カードを選び出すなど)へ落とし込むことで、より理解しやすいアプローチを心がけた。また、その社会的影響力についても学べるような仕掛け作りを行った。	44名	参加費500円
	夏休みワークショップ「ケータイスパイ大作戦」	8月13日(木)ほか10日間 ホワイエ他	夏休みの子どもたちに向けて、多人数が参加できるワークショップを開催。今回は、YCAMオリジナルワークショップ「ケータイスパイ大作戦」。ワークショップを通して、体験しながらメディア社会でのルールやマナーについて学んだ。	136名	参加費500円
	YCAMバックステージツアー2009	8月16日(日)、23日(日) スタジオA	マレピトの会「PARK CITY」の舞台づくりの裏側を体験できるバックステージツアーを実施、両日ともほぼ満員と好評を博した。	56名	参加無料
	演劇ワークショップ「演劇鑑賞、もうひとつのトビラ」	3月6日(土)、7日(日) 楽屋7,8	演劇作品をそうやって楽しめばよいのか迷っている方、より深く楽しみたい方対象に、ひとつの戯曲からも汲み尽くされていない様々な解釈演出の可能性のあることを体感していただき、演劇の味わい方を学んでいただいた。	15名	参加費2,000円他
山口情報芸術センター (研究事業)	インターラボ研究開発事業	通年	YCAMの活動を見据えながら、それぞれの業務において有用な技術リサーチや実験、研究を実施。技術力の向上と維持に必要な基礎研究と開発を行った。		
	インターラボ研修生事業	通年	世界中から1人ないしは2人を半年もしくは1年間YCAMに研修生として呼び、共に研究、制作を行う企画。YCAMスタッフの価値観、思考の視野を広げること及び新たな人材発掘を目指した。本年度は、シンガポールよりテクニカルマネージャーを1名受け入れ、約3か月間の研修を実施した。		
山口情報芸術センター (シネマ事業)	YCAMシネマ (コミュニティシネマ山口)	通年	市民の皆さんから寄せられたリクエストを中心に、ミニシアター系作品や古い洋画・邦画など山口では上映される機会の少ない様々なジャンルの映画を上映した。	2,505名	1,200円他
	YCAMシネマ (Select CINE TECTONICS)	年4回開催	映画を芸術作品としてとらえ、世界の様々な地域の古典から新作まで、芸術史およびメディア史的視点から、意義のある映画作品を紹介するシリーズ。ドキュメンタリーも含んだ、普段山口では上映される機会がまれな様々な映画作品を、映画作家やテーマ別にセレクトして上映した。 ・Select CINE TECTONICS=6「ジャン＝リュック・ゴダール監督特集」 ・Select CINE TECTONICS=7「王兵監督特集」 ・Select CINE TECTONICS=8「ストロープ＝ユイレ、あるいはルノワール 映画におけるリアリズムへの問い」 ・Select CINE TECTONICS=9「ジャック・タチ監督特集」	491名	700円他

区分	事業名	開催日時・会場	内容	入場者数	入場料
山口情報芸術センター (シネマ事業)	YCAMシネマ (夏の夜の星空上映会)	8月14日 (金)、15日 (土)	山口の夏の夜の風物詩になりつつある中央公園での野外上映会を実施した。	415名	無料
	YCAMシネマ (特集上映)		・川島雄三監督特集 開催日時:5月1日(土)~31日(日) ・文化庁優秀映画鑑賞推進事業 開催日時:9月19日(土)~23日(水) ・マキノ雅弘監督特集 開催日時:11月20日(金)~12月27日(日) ・山口未公開日本映画特集 開催日時:平成22年1月14日(木)~2月21日(日)	2,805名	700円他
	YCAMシネマ (YCAM関連上映)		・「マレビトの会/PARK CITY」関連上映 開催日時:8月7日(金)~9日(日) ・グルポ・ヂ・フォーア「H3」関連上映 開催日時:11月6日(金)~8日(日)	119名	800円他
	YCAMシネマ (シネマテークプロジェクト第二弾「生誕百年記念 山中貞雄監督特集」)	3月12日(金)~ 14日(日)、26 日(金)~28日 (日)	シネマテークプロジェクトとは、全国の映画上映のための専門施設を持ち、映画史的・批評的なプログラムの上映を行っている文化施設が連携し、これまで上映される機会がなかった映画史上重要な作品を巡回上映していくプロジェクト。今年度は、早熟の天才といわれながらも28歳という若さで夭折した映画作家・山中貞雄の生誕100年を記念した特集上映を開催した。	124名	700円他

2 受託施設利用状況

(1) 山口市民会館

使 用 日 数													
ホール / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	10	6	8	21	22	14	20	16	16	6	9	22	170
小ホール	14	18	14	20	15	12	16	15	16	12	19	19	190
展示ホール	21	16	15	14	19	18	16	18	14	9	18	21	199
会議室	0	3	3	2	7	3	6	3	2	2	2	4	37
計	45	43	40	57	63	47	58	52	48	29	48	66	596

使 用 件 数													
ホール / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホール	7	4	6	17	22	12	16	16	9	6	8	12	135
小ホール	12	12	12	15	14	11	15	13	9	9	7	11	140
展示ホール	8	5	7	7	8	8	7	7	6	6	5	5	79
会議室	0	3	3	1	5	2	4	3	2	2	2	3	30
計	27	24	28	40	49	33	42	39	26	23	22	31	384

使 用 率													
ホール / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
大ホール	33.3%	19.4%	26.7%	67.7%	71.0%	46.7%	64.5%	53.3%	57.1%	21.4%	32.1%	71.0%	47.0%
小ホール	46.7%	58.1%	46.7%	64.5%	48.4%	40.0%	51.6%	50.0%	57.1%	42.9%	67.9%	61.3%	52.9%
展示ホール	70.0%	51.6%	50.0%	45.2%	61.3%	60.0%	51.6%	60.0%	50.0%	32.1%	64.3%	67.7%	55.3%
会議室	0.0%	9.7%	10.0%	6.5%	22.6%	10.0%	19.4%	10.0%	7.1%	7.1%	7.1%	12.9%	10.2%
平均	37.5%	34.7%	33.3%	46.0%	50.8%	39.2%	46.8%	43.3%	42.9%	25.9%	42.9%	53.2%	41.4%

使 用 回 数													
ホ ー ル / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホ ー ル	23	15	19	55	52	29	42	35	43	12	19	60	404
小ホ ー ル	28	40	35	47	36	24	36	35	41	30	47	52	451
展 示 ホ ー ル	57	41	40	33	51	47	43	44	37	23	49	58	523
会 議 室	0	8	8	5	19	7	12	8	6	6	4	11	94
計	108	104	102	140	158	107	133	122	127	71	119	181	1472

入 場 者 数													
ホ ー ル / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大ホ ー ル	3,600	1,900	4,450	5,950	11,350	3,850	8,570	10,810	7,000	4,150	4,600	7,000	73,230
小ホ ー ル	1,086	2,370	1,920	1,400	730	1,010	1,520	1,570	1,502	1,420	2,213	3,080	19,821
展 示 ホ ー ル	1,204	1,111	1,437	727	1,040	1,099	1,517	2,295	2,785	289	1,319	2,773	17,596
会 議 室	0	60	20	20	100	20	20	40	40	0	0	50	370
計	5,890	5,441	7,827	8,097	13,220	5,979	11,627	14,715	11,327	5,859	8,132	12,903	111,017

中原中也記念館入館者年間集計表

(単位:人)

月	一般	大学生	小中高	減額	免除	招待	合計			開館日数(日)			平均入館者数		
							全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝	全体	平日	土日祝
4月 (うち団体)	1,044 ()	23 ()	47 ()	0	580	44	1,738 ()	673 ()	1,065 ()	25	16	9	70	42	118
5月 (うち団体)	1,663 (29)	86 (23)	128 (68)	5	801	39	2,722 (120)	804 (29)	1,918 (91)	26	13	13	105	62	148
6月 (うち団体)	1,159 (64)	32 ()	6 ()	3	247	18	1,465 (64)	694 (25)	771 (39)	24	16	8	61	43	96
7月 (うち団体)	1,025 (1)	60 (21)	52 ()	38	204	33	1,412 (22)	650 (22)	762 ()	25	16	9	56	41	85
8月 (うち団体)	1,768 ()	127 ()	245 ()	73	205	56	2,474 ()	1,413 ()	1,061 ()	25	15	10	99	94	106
9月 (うち団体)	1,833 (24)	121 (16)	67 ()	97	226	64	2,408 (40)	776 (20)	1,632 (20)	25	14	11	96	55	148
10月 (うち団体)	1,501 (190)	27 ()	35 ()	22	304	23	1,912 (190)	836 (95)	1,076 (95)	26	16	10	74	52	108
11月 (うち団体)	1,495 (116)	37 ()	15 ()	27	379	36	1,989 (116)	942 (88)	1,047 (28)	24	13	11	83	72	95
12月 (うち団体)	908 (38)	46 ()	16 ()	0	127	37	1,134 (38)	504 ()	630 (38)	23	14	9	49	36	70
1月 (うち団体)	1,106 (32)	30 ()	71 ()	1	115	32	1,355 (32)	608 (32)	747 ()	23	14	9	59	43	83
2月 (うち団体)	1,052 (49)	32 ()	58 (16)	0	137	22	1,301 (65)	490 ()	811 (65)	21	12	9	62	41	90
3月 (うち団体)	1,197 ()	115 ()	71 ()	0	149	42	1,574 ()	579 ()	995 ()	24	15	9	66	39	111
合計 (うち団体)	15,751 (543)	736 (60)	811 (84)	266	3,474	446	21,484 (687)	8,969 (311)	12,515 (376)	291	174	117	74	52	107
割合	73.3%	3.4%	3.8%	1.2%	16.2%	2.1%	100.0%								
開館後累計 (うち団体)	432,454 (36,484)	21,036 (2,331)	27,048 (3,312)	774	7,621	46,144	535,077 (42,127)	245,186 (27,456)	289,891 (14,671)	4,791	2,970	1,821	112	83	159
開館後割合	80.8%	3.9%	5.1%	0.1%	1.4%	8.6%	100.0%								

(3) 山口情報芸術センター

・月別入場者内訳

月	開館日数	入館者数	平均入場者数
4	26	57,815	2,224
5	27	61,059	2,261
6	25	57,437	2,297
7	27	64,536	2,390
8	27	74,082	2,744
9	25	58,031	2,321
10	27	69,974	2,592
11	26	58,422	2,247
12	24	49,578	2,066
1	24	53,560	2,232
2	24	58,044	2,419
3	26	50,385	1,938
計	308	712,923	2,307

・スタジオA月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数	入場者数
4	26	7	26.9	3	7	187
5	27	8	29.6	3	8	920
6	25	12	48.0	3	12	283
7	27	8	29.6	3	8	232
8	27	18	66.7	1	19	243
9	25	2	8.0	1	2	321
10	27	7	25.9	3	7	1,167
11	26	13	50.0	4	13	2,152
12	24	6	25.0	3	6	1,001
1	24	9	37.5	1	9	0
2	24	24	100.0	1	24	0
3	26	26	100.0	2	26	817
計	308	140	45.5	28	141	7,323

・スタジオB月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	26	21	80.8	1	21
5	27	11	40.7	1	11
6	25	25	100.0	1	25
7	27	27	100.0	1	27
8	27	27	100.0	1	27
9	25	21	84.0	1	25
10	27	27	100.0	2	27
11	26	26	100.0	2	26
12	24	24	100.0	1	24
1	24	24	100.0	2	24
2	24	24	100.0	1	24
3	26	26	100.0	1	26
計	308	283	91.9	15	287

・スタジオC月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	26	16	61.5	17	32
5	27	20	74.1	14	39
6	25	15	60.0	15	30
7	27	21	77.8	18	47
8	27	16	59.3	17	30
9	25	12	48.0	10	29
10	27	16	59.3	13	32
11	26	18	69.2	17	39
12	24	15	62.5	15	43
1	24	19	79.2	15	48
2	24	20	83.3	16	52
3	26	15	57.7	13	32
計	308	203	67.0	180	453

・創作・学習室月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	26	10	38.5	3	10
5	27	7	25.9	2	7
6	25	5	20.0	5	5
7	27	10	37.0	8	10
8	27	3	11.1	2	3
9	25	10	40.0	3	10
10	27	9	33.3	9	10
11	26	5	19.2	4	5
12	24	7	29.2	5	7
1	24	7	29.2	1	7
2	24	10	41.7	5	10
3	26	10	38.5	2	10
計	308	93	30.2	49	94

・多目的室月別使用内訳

月	開館日数	使用日数	使用率%	使用件数	使用回数
4	26	7	26.9	7	7
5	27	6	22.2	6	6
6	25	9	36.0	9	9
7	27	4	14.8	5	5
8	27	6	22.2	8	8
9	25	8	32.0	11	11
10	27	11	40.7	13	13
11	26	13	50.0	14	14
12	24	6	25.0	7	7
1	24	7	29.2	7	7
2	24	7	29.2	7	7
3	26	9	34.6	10	10
計	308	93	30.2	104	104

・山口情報芸術センター視察対応表

No	視察日	曜日	視察者	人数	視察内容
1	4月3日	火	Marko Perljhan氏	1	視察
2	4月6日	金	shiftプロダクション代表 大口氏	1	視察
3	4月8日	日	西日本工業大学	100	見学
4	4月20日	月	公州市訪問団 + 山口市随行者	13	視察
5	5月16日	土	山口大学教育学部 斉藤先生（現代音楽）クラス	22	見学
6	5月24日	日	金沢工科大学	10	視察
7	5月25日	月	山口市秋穂二島老人クラブ	30	見学
8	6月7日	日	韓国旅行会社関係者	6	視察
9	6月27日	土	トヨタ自動車株式会社、トヨタコレオグラフィアワード事務局	2	視察
10	7月2日	木	株式会社日研設計	2	見学
11	7月3日	金	長門市立深川小学校5年生	100	見学
12	7月11日	土	山口大学人文学部博物館概論	20	見学
13	7月12日	日	東京大学文化資源学研究室	20	見学
14	7月13日	月	宇部空港事務所職員	5	見学
15	7月14日	火	山口県立大学 木越先生	45	見学
16	7月16日	木	宇部空港事務所職員	5	見学
17	7月25日	土	福島市長 他	6	視察
18	7月25日	土	ルイ・ヴィトン財団キュレーター Nadim Callabe氏 Stehane Bezombes氏（仏）	2	視察
19	7月29日	水	開港150周年・創造都市事業本部 創造都市推進課 彦坂早代 氏 他	2	視察
20	7月31日	金	慶熙大学校教授パク・シン・イ氏 他（韓国）	2	視察
21	8月9日	日	済南市、昌原大学校訪問団、山東大学	8	視察
22	8月21日	金	下関市教育委員会菊川教育支所 わくわく少年隊	32	見学
23	8月27日	木	宇部市シルバーふれあいセンター野外活動第11期生OB会	25	見学
24	10月9日	金	防府市立中関小学校5年生	106	見学
25	10月15日	金	セルリアンタワー能楽堂館長 喜多氏	1	見学
26	10月21日	水	スペイン セルバンテス文化センター	1	視察
27	10月22日	木	宇部市立東岐波小学校5年生	147	見学
28	10月22日	木	キュレーター Alfredo Mateo氏（スペイン）	1	見学
29	10月23日	金	第32回建築基準法施工都市中国ブロック会議	54	視察
30	10月24日	土	九州大学芸術工学部3年生	4	見学
31	10月24日	土	韓国の旅行専門出版社「テラ（TERRA）」	6	視察
32	11月5日	木	済南市訪問団 他	7	視察
33	11月13日	金	飯山雅英氏、ミシュランガイド執筆者ジャン=リュック・トラブレイス氏（仏）他	3	視察
34	11月14日	土	広島県建築工会広島支部	40	見学
35	11月14日	土	contact Gonzo	7	見学
36	11月15日	日	フランス大使館文化部副参事フランス・メジエール氏他	2	視察
37	11月20日	金	こどもの城 下村氏	1	見学

No	視察日	曜日	視察者	人数	視察内容
38	11月21日	土	スーザン・バージュ氏	1	見学
39	11月26日	木	アクロス福岡伊藤氏他	2	視察
40	11月27日	金	韓国九老区文化財団館長/CEO、慶熙大学校教授パク・シン・イ氏 他（韓国）	7	視察
41	12月5日	土	湘北短期大学 溝口氏 他	4	見学
42	12月7日	月	ベルリン自由大学研究員 カイ・ファン・アイケルス氏	1	見学
43	12月12日	土	沖縄キジムナーフェスタプロデューサー 下山氏	1	見学
44	12月14日	月	人類学・比較社会学研究所 研究員 Sophie Houdart氏	1	視察
45	12月19日	土	山口中央高校	6	見学
46	12月20日	日	台北国立芸術大学デジタルアートラボラトリー 林教授 他	5	視察
47	12月28日	月	NPO法人福岡パフォーミングアーツプロジェクト	6	見学
48	1月9日	土	ギンザグラフィックギャラリー 学芸員 尾澤あずさ 氏	1	視察
49	1月13日	水	ドイツ人キュレーター Ingken Wagner（インケン・ワグナー）	1	視察
50	1月13日	水	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科 石川緋名子	1	視察
51	1月18日	月	関西日仏交流会館/ヴィラ九条山 副館長 ジャン・ポール・オリヴィエ氏	1	視察
52	1月18日	月	アラン・ファーネス、エリザベス・ファーネス元大使御夫妻(イギリス) 他	5	視察
53	1月27日	水	秋吉台国際芸術村レジデンスアーティスト	3	視察
54	1月27日	水	山口大学附属中学校 職場体験	2	見学
55	1月28日	木	山口インフォメーション・カレッジ	15	見学
56	2月3日	水	湯田小学校 6年生見学	64	見学
57	2月4日	土	山口市議会 阿東クラブ	12	視察
58	2月5日	金	Amanda McDonald Crowley (Eyebeam executive director)	1	視察
59	2月5日	金	湯田小学校 6年生見学	65	見学
60	2月6日	土	オーストラリア(メルボルン)の映像センター「ACMI」シニアキュレーター	1	視察
61	2月8日	月	佐世保市議会 文教厚生委員会	10	視察
62	2月15日	月	山口市総務部総務課国際交流室	7	見学
63	2月26日	金	グライNDERマン・パフォーマー 伊豆牧子氏	1	視察
64	2月28日	日	千葉大学教育学部 神野真吾氏 他	2	視察
65	3月5日	金	水戸芸術館学芸員 高橋瑞木氏	1	視察
66	3月26日	金	IAMAS大学院講師 赤羽享氏	1	視察
67	3月29日	月	多摩美術大学客員教授 東京芸術大学先端表現科教授 伊藤俊治氏	1	視察
合 計					

3 庶務事項

(1) 役員に関する事項

・理事及び監事 15名 (任期：平成20年4月1日～平成22年3月31日)

役職	氏名	所属等
理事長	池部 豊	
理事	遠藤 徳吉	おごおり文化協会会長
理事	大庭 達敏	山口観光コンベンション協会理事長
理事	加藤 燿子	山口文化協会会長
理事	齋藤 宗房	山口ケーブルビジョン㈱代表取締役社長
理事	佐藤 泰正	中原中也記念館運営協議会会長
理事	田村 幸志郎	やまぐち市民文化の会会長
理事	中野 勉	山口商工会議所会頭
理事	福田 礼輔	特定非営利活動法人歴史の町山口を甦らせる会理事長
理事	古川 綾子	山口ユネスコ協会会長
理事	岩城 精二	山口市教育長
理事	吉田 正治	山口市副市長
常務理事	岩倉 宏昌	財団法人山口市文化振興財団事務局長
監事	溝部 哲夫	山口市会計管理者
監事	伊藤 和貴	山口市総合政策部次長

(平成22年3月31日現在・順不同)

・理事会開催状況

開催年月日	審議事項
平成21年 5月28日	議案第1号 平成20年度事業報告
	議案第2号 平成20年度一般会計収支決算
	議案第3号 平成20年度特別会計収支決算
	議案第4号 特例民法法人から公益財団法人への移行手続きについて
平成21年12月10日	議案第1号 評議員の選出について
	議案第2号 最初の評議員会運営規則の制定について
	議案第3号 最初の評議員選出に係る評議員選定委員会の外部委員の選任について
	議案第4号 平成21年度財団法人山口市文化振興財団一般会計補正予算
	議案第5号 平成21年度財団法人山口市文化振興財団特別会計補正予算
平成22年 3月25日	議案第1号 評議員の選出について
	議案第2号 平成22年度事業計画
	議案第3号 平成22年度法人会計収支予算
	議案第4号 平成22年度公益目的事業会計収支予算
	議案第5号 公益財団法人山口市文化振興財団に係る最初の評議員の推薦について

(2) 評議員に関する事項

・評議員12名

(任期：平成21年4月1日～平成23年3月31日)

氏名	所属等
井生文隆	山口県立大学国際文化学部文化創造学科教授
鈴木克彦	財団法人山口観光コンベンション協会常務
伊藤真由美	山口芸術短期大学助教授
片岡陽子	山口インフォメーション・カレッジ教頭
菊屋吉生	山口大学教育学部教授
斎藤郁夫	山口県立美術館学芸課長
水谷由美子	山口県立大学国際文化学部文化創造学科教授
山中清治	山口ケーブルビジョン株式会社編成制作局長
濱田順道	NHK山口放送局放送部部長
吉光純也	東亜大学副学長
高橋和明	山口市教育委員会中央図書館館長
中谷尚夫	山口市総合政策部文化政策課課長

(平成22年3月31日現在・順不同)

・評議員会開催状況

開催年月日	審議事項
平成21年5月28日	議案第1号 平成20年度事業報告
	議案第2号 平成20年度一般会計収支決算
	議案第3号 平成20年度特別会計収支決算
	議案第4号 特例民法法人から公益財団法人への移行手続きについて
平成21年12月10日	議案第1号 平成21年度財団法人山口市文化振興財団一般会計補正予算
	議案第2号 平成21年度財団法人山口市文化振興財団特別会計補正予算
平成22年3月25日	議案第1号 役員の選任について
	議案第2号 平成22年度事業計画
	議案第3号 平成22年度法人会計収支予算
	議案第4号 平成22年度公益目的事業会計収支予算
	議案第5号 公益財団法人山口市文化振興財団に係る最初の評議員選定委員会の委員の選出について
	議案第6号 公益財団法人山口市文化振興財団に係る最初の評議員の推薦について

(3) 登記及び届出

・登記

登記原因発生	申請先	事由	登記年月日
平成22年3月25日	山口地方法務局	理事の辞任及び就任	平成22年4月15日

・主務官庁への届出

届出年月日	届出先	届出事項
平成21年4月1日	"	公益法人監事変更届
平成21年4月8日	"	公益法人登記完了届
平成21年6月1日	"	平成20年度事業報告書及び収支決算書
平成22年3月27日	"	平成22年事業計画書及び収支予算書